

市立学校学習環境規模適正化 推進計画が決定しました

急速な少子化や新たな時代に求められる教育への移行などを踏まえ、西脇市は小中学校の適正な学習環境について検討を進めています。

令和2年7月には、市から諮問を受けた「西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議」が、学校の「規模の適正化」と「適正な配置」に関して議論を開始。学識経験者や市民の代表らが、2年間にわたって審議し、その結果を市へ答申しました。

それを基に、市教育委員会は「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画（案）」を策定。令和5年5月から地域説明会やパブリック・コメントを実施しながら、市民の皆さんのご意見をお聞きしました。

このたび、寄せられたご意見などを踏まえ「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画」が決定しました＝QRコード。シリーズ第8回では、計画（案）からの変更点や、決定した統合イメージなどをお知らせします。

▶問合せ

学校適正推進課（市役所内線4031）



計画(案)からの主な変更点



1 point 西脇東中・黒田庄中の統合

西脇東中学校と黒田庄中学校の統合計画は、次の表のとおり変更します。

	変更前	変更後
統合の組み合わせ	西脇東中学校 黒田庄中学校	西脇東中学校 黒田庄中学校
活用する施設	西脇東中学校	協議により決定 (詳しくは右の[point2]のとおり)
統合の時期	令和8年4月	令和9年4月
開校準備会議	令和5年度設置	活用する施設を決定後、速やかに設置



2 point 「統合懇談会（仮）」の開催

西脇東中学校と黒田庄中学校の統合は、両校区で子育て世代の代表を中心に構成する「統合懇談会（仮）」を立ち上げ、活用する施設などについて意見交換を行います。

この懇談会は、合計で7回程度の実施を予定しています。この会でも出された意見と地域の意向などを踏まえ、市教育委員会で協議を行い、今後の方針などを決定します。



決定した統合イメージ

統合対象はこれらの基準が確保できないまたはできない可能性がある学校

学校規模・配置の基本方針

- 中学校は「1学年2学級以上が確保できる」こと
- 小学校は「複式学級編制が生じない」こと

令和9～ 中学校3拠点化

3つの中学校区に再編し、中学校を各1校配置します。



小学校

4つの現中学校区に、小学校を各1校配置します。



令和15年

調査検討会議
設置

令和20～ 中学校2拠点化

2つの中学校区に再編し、中学校を各1校配置します。



小学校

会議で見直し
重春小・芳田小の統合校以外の小学校は、令和15年度までに設置する「調査検討会議」で配置を見直します。



統合計画・スケジュール

統合校は、いずれも春に開校予定です。

- 統合 = 中学校の統合
- 統合 = 小学校の統合

学校	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20
西脇小		開校準備会議設置														統合
日野小																統合
比延小		開校準備会議設置														統合
双葉小																統合
楠丘小		開校準備会議設置														統合
桜丘小																統合
新設小学校																統合
西脇中																統合
西脇東中		統合懇談会設置														統合
黒田庄中		開校準備会議設置														統合
新設中学校																統合
重春小		開校準備会議設置														統合
芳田小																統合
西脇南中																統合

※人口減少などの状況に応じて、調査検討会議の設置を早める場合もあります。



パブリック・コメントに寄せられたご意見

令和5年5月～6月に実施したパブリック・コメントでは、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。提出されたご意見の概要と、ご意見に対する市教育委員会の考えは、市ホームページに掲載し

ています。下のQRコードを読み取ってご覧ください。

- ▶意見提出 53人
- ▶提出意見数 169件

